

日本の復興

東日本大震災は天災と人災（原発）が複合した歴史的な凄まじい災害です。国家の有事であります。

日本は一体です。大きな影響も北陸にもあります。いま心を寄り添え日本、東北の早期復興が日本人の一番の課題です。

私たちのできることは、それぞれ持ち場で目標を掲げ、これまで以上のスピードで、一生懸命働き仕事をする事

でしょう。

各個人が考えて、行動することが日本を支えます。

大きな談合は国策、小さな談合は犯罪です。しかし戦後日本が復興した基盤でもありません。

新自由主義が跋扈し、小泉政権で世界基準に合わない

秩序を壊して、大きな混乱を招いた。

復興には5年以上もつと、何年もかかると思います。

まず先に、最悪も想定し原発を押し込めることです。

独立国なら米基準に何んでも従う必要はないはずなのにすがね。政権と財務省の復興財源不足はウソです。

目標を掲げ新しい日本民族のため、津波、原発の失敗を二度と繰り返さないことを固く誓い、戦後の失敗を、政府や官僚任せにせず、自分達で決め何年かかろうとやり遂げ

ることを心に誓うべきなのです。

人間はイメージによって行動します。世界で日本の風評被害が広がっています、負のスパイラルは経済にとって大打撃です。日本崩壊の危機です。戦後築いた日本のイメージが失われる寸前です。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年4月28日(木) NO 191

地域から明るい未来を作ろう

原発神話と増税

- ・ 主な掲載は次のとおり。
- ・ イギリス帝国と米国の滅亡 (NO 20号)
- ・ アメリカの三大罪 (NO 21号)

- ・ 80号)
- ・ 米国債を売却せよ (NO 86号)
- ・ 米の抱きつき心中 (NO 101号)

- ・ 驚愕の事実 (NO 188号)
- ・ 内容はホームページに掲載です。非常事態で簡単に、財務省の復興増税論に騙されないことが必要です。

- ・ 「事務所便り」では、2年前のNO 20号 (平成21年1月30日) から、米国債の洗脳 (プロパガンダ) を指摘。
- ・ 原発の安全神話と同じで騙されています。増税をしながらも財源は充分あります。

- ・ 食料の自給自足も許さぬ植民地政策 (NO 22号)
- ・ 変わる日本 (NO 27号)
- ・ 属国の末路 (NO 47号)
- ・ 売国政策からの脱却 (NO 133号)

- ・ 財源は国債 (NO 110号)
- ・ あなたの税金が狙われている (NO 129号)
- ・ スイッチを入れよう (NO 133号)
- ・ 日本の独立 (NO 174号)
- ・ 米国最優先を転換 (NO 178号)

多くの人に幸せを与えよう

経済に国境はありません。個々に自由な関係が築けます。縛られることもありません。経済活動で国に頼りだした

「君子は機を見てたつ、日を終わるを待たず」とあります。

成功は曲がりくねった道の先にしかないものです。日本人は苦勞することを忘れていたのではな



渋沢栄一やドラッカーではありませんが、苦難にあえて挑戦するのです。

ら、お終りです。後は縛られるだけです。自由に絶対になりません。

最近、古典の意訳、易経を読んでいたところ、隆盛や衰退について、時を含め森羅万象すべてが変化します。良い時は悪い方に、悪い時は良い方へ向かう。兆しとは直感、何らかの兆し前触れ、予兆があるところ。日本はいま何かがおかしい、変だの感じが易で言う所のシグナルです。